

とねりのみこ たてまつ うた
舍人皇子に献る歌二首

一六八三番

妹いもが手てを 取りとて引ひき攀よぢ ふさ手た折をり 我わがか
ざすさべく 花はな咲さけるさかも

一六八四番

春山はるやまは 散ちり過すぎぬとも 三輪山みわやまは いまだふふ含ふめ
り 君待きみまちかてに

いづみかは へ
泉川の辺にして 間人宿禰の作る歌二首

一六八五番

川かはの瀬せの 激たぎちを見みれば 玉たまかも 散ちり乱みだれたる
川かはの常つねかも

一六八六番

彦星ひこほしの かざしの玉たまし 妻恋つまごひに 乱みだれにけらし
この川かはの瀬せに